

作成年月日	平成 25 年 9 月 9 日
作成部局	県土整備部土木局河川整備課

河川整備が9月4日豪雨に効果を発揮！  
 ~佐用地区で浸水被害を回避（千種川緊急河道対策）~

千種川水系では、9月2日未明から4日の断続的な降雨により、降り始めからの雨量が佐用地点で265mmに達する等、平成21年台風9号以来の豪雨となりました。しかし、河川改修が進んだ佐用町の市街地や久崎地区等では、改修前に比べて洪水水位が低下し、被害の未然防止が図られるなど、平成21年から取り組んでいる緊急河道対策の整備効果が確認されました。

1 降雨状況

最大時間雨量は42mm（佐用）、最大24時間雨量は151mm（佐用）を記録し、平成21年台風第9号よりは少ないものの、平成16年台風第21号に匹敵する豪雨となりました。

2 整備効果

(1) 佐用町市街地（佐用地区）

佐用地区では、改修により川幅を12m拡大(断面を約2倍)していたことから、整備前と比べて水位が1.5m低下し、洪水を安全に流すことができました。

もし整備されていなければ、洪水が堤防とほぼ同じ高さに迫っていました(堤防天端まであと約20cm)。このため、洪水時の水面変動によって越水し、巻堤等で補強していなかった堤防が破堤に至り、甚大な被害をもたらした可能性があります。

堤防全体をコンクリートブロックやアスファルト等で被覆すること

(2) 佐用町久崎地区

久崎地区では、整備前でも破堤の恐れは小さかったものの、整備により水位が1.5m低下し、洪水を安全に流すことができました。

表 今回の豪雨による佐用・久崎地区の整備効果

地区名	水位の状況（堤防天端までの高さ）		整備後の状況
佐用	整備前 0.2m	整備後 1.7m (1.5m 低下)	川幅 12m 拡大、断面 2 倍に拡大
久崎	整備前 1.6m	整備後 3.1m (1.5m 低下)	川幅 25m 拡大、断面 1.8 倍に拡大

(3) 千種川水系でのその他の対策区間

千種川水系では上記以外の対策区間においても、河川からの溢水はなく、大きな浸水被害は発生しませんでした。

3 地元の声（出水後の聞き取り）

(1) 久崎地区

・川幅が広がったことから、今回の豪雨で河川水位は思ったほど上昇しなかった。また、内水の上昇も軽微で安心して過ごすことができた。

(2) 真盛地区

・今回のような豪雨に見舞われると、改修前であれば、広範囲に浸水していたかもしれない。改修の効果は大きいことが実感できた。

4 今後の県の取り組み

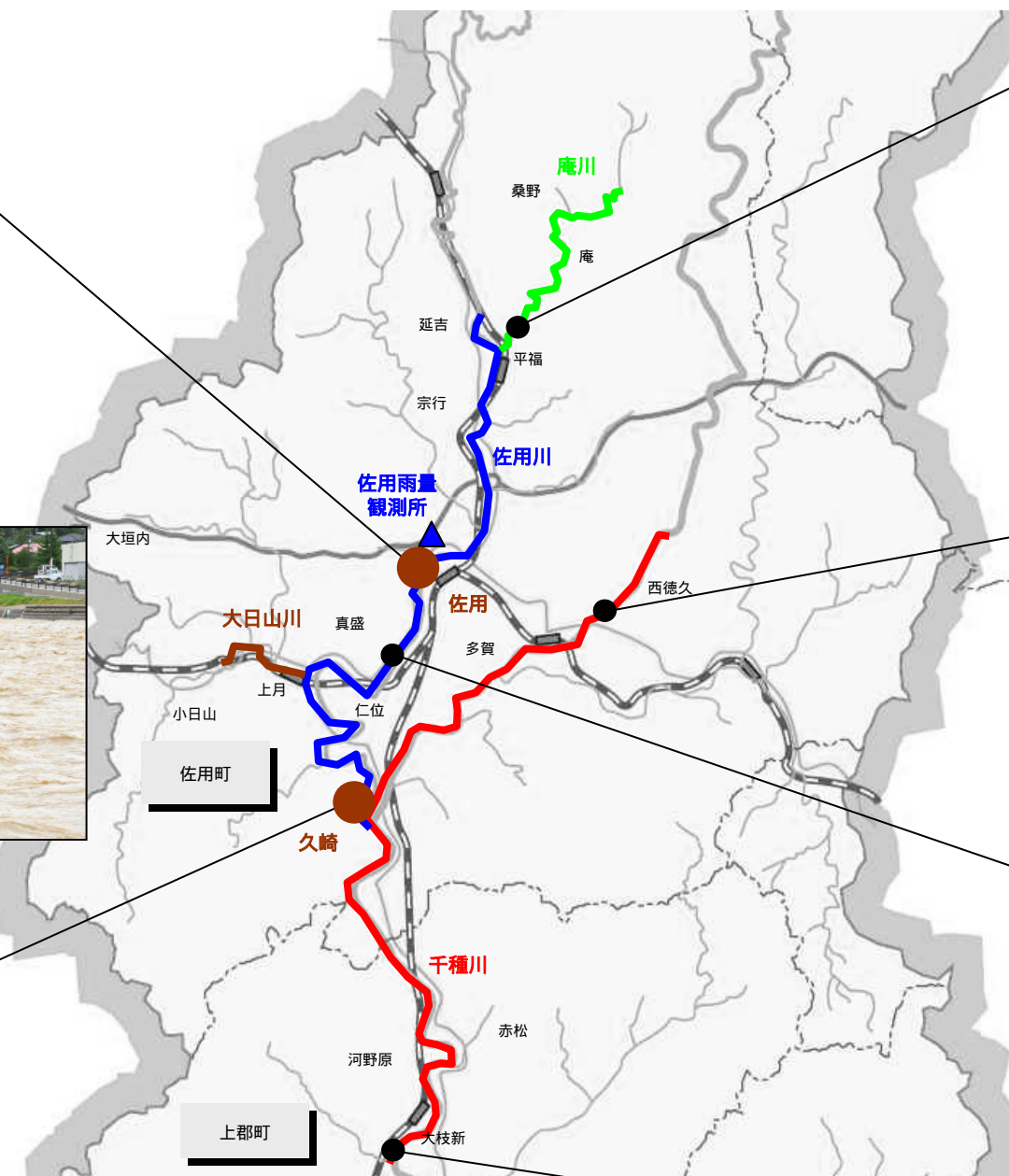
引き続き残る区間の改修を進め、平成26年度末の事業完了を目指します。

<問い合わせ先>

兵庫県県土整備部土木局河川整備課治水係 TEL: 078-362-4437

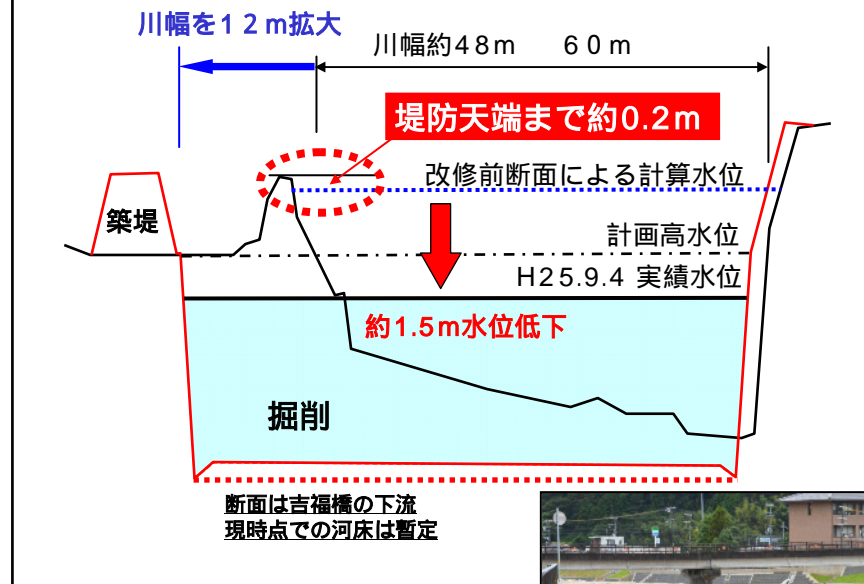
# 千種川水系 河川整備の効果 (H25.9.2未明～9.4豪雨)

## 位置図



### 佐用地区 (佐用川)

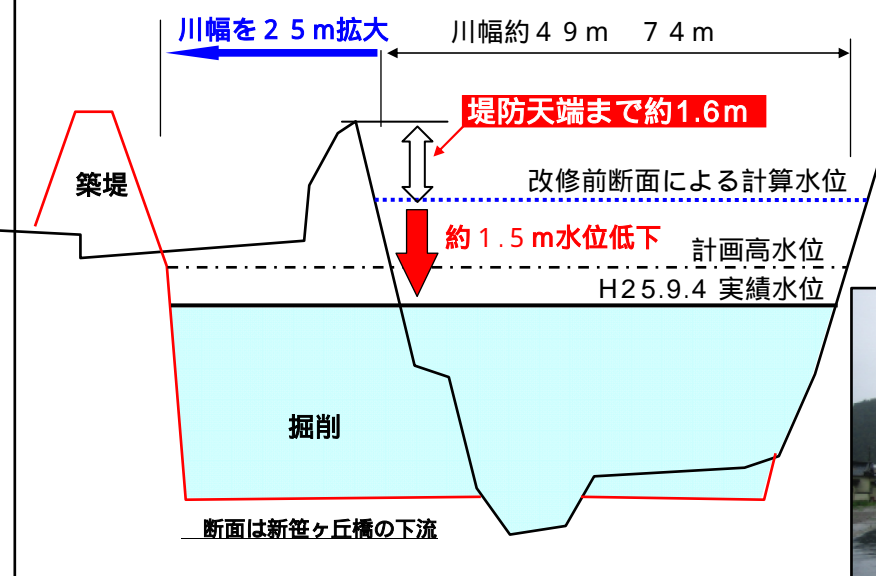
改修により川幅が約1.3倍に拡大  
断面が約2.0倍に拡大



佐用地区 (佐用川)

### 久崎地区 (佐用川)

改修により川幅が約1.5倍に拡大  
断面が約1.8倍に拡大



久崎地区 (佐用川)



平福地区 (庵川)



徳久地区 (千種川)



真盛地区 (佐用川)



大枝地区 (千種川)

近年の大規模出水時の降雨状況との比較 (佐用観測所) (単位:mm)

観測所名	設置場所	河川名	今回の豪雨		H21年台風9号		H16年台風21号	
			最大時間雨量	最大24時間雨量	最大時間雨量	最大24時間雨量	最大時間雨量	最大24時間雨量
佐用	佐用町	佐用川	42	151	77	301	37	188